

学校教育目標 「自ら気づき、考え、ともに生きる子どもの育成」**目指す子ども像「くすのき」**

- 「くじけずしなやかな子ども」（努力・責任）…最後まであきらめない子ども
- 「すすんで学ぶ子ども」（意欲・主体性）…自主的・自発的に学習を進める子ども
- 「のびのび共に活動する子ども」（協力・思いやり）…共に認め合い、力を合わせる子ども
- 「きまりを守る子ども」（規律・規範）…自律し、規律ある行動ができる子ども

学校経営方針

- 1 一人一人を徹底的に大切にし、子どもが安全で安心して過ごせる学校づくりを進める。
- 2 基礎・基本の定着を徹底するとともに、子どもが主体的に考える授業づくりを進める。
- 3 一人一人のちがいを認め合い、共に生きることの大切さを学ぶ学級づくりを進める。
- 4 家庭・地域との連携を図り、地域ぐるみの学校づくりを進める。

取組の重点

- 1 一人一人を徹底的に大切にし、子どもが安全で安心して過ごせる学校づくり
 - ・子どもの命、心と体を守り育み健康・安全の意識を高く持ち続ける体制と取組を進める。
 - ・人権についての認識を深め、いじめを許さない意識と態度を育てる取組を充実する。
 - ・道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間などの様々な体験活動を通して、人と人との絆の大切さを実感し規律ある生活習慣やきまりを守る態度を育成する。「みそあじ あはは」「み」…身支度を心がける（準備・心構え）、「そ」…掃除を頑張る（協力・責任）、「あ」…あいさつをする（コミュニケーション）、「じ」…時間を守る（約束・きまり）、「あ」…朝ごはん、「は」…早ね、「は」…早起き
- 2 基礎・基本の定着と子どもが主体的に考える授業づくり
 - ・読書活動や計算・漢字など学力の基盤となる取組の徹底を図る。
 - ・学習課題（めあて・目標）の提示と学習の振り返りの学習活動や子ども同士の学び合いを取り入れながら、学び方の定着を図る。
 - ・主体的・対話的な学びを重視し「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」が実感できる授業改善に努める。
 - ・体育科の研究を通して、自ら考え自他の体力と健康の保持増進や回復の実践力を育て、疾病のリスク軽減を目指す。
 - ・子どもが自らの課題に気付き計画的な家庭学習の定着を図り、自学自習の習慣化を目指す。その中で学校図書館の効果的な活用も工夫する。
- 3 一人一人のちがいを認め合い、共に生きることの大切さを学ぶ学級づくり
 - ・自尊感情を高める取組の中で、互いに認め合い高め合う集団と子ども同士の絆づくりを支援する。
 - ・支援の必要な子どもに焦点を当てた授業と学級づくりを進める。（ユニバーサルデザイン化）
 - ・一人一人の教育的ニーズを把握し、支援の方法や個に応じた指導の工夫をする。
- 4 地域ぐるみの学校づくり
 - ・学校運営協議会を中心として、ボランティア組織と一緒にした学校運営を推進する。
 - ・地域との協力体制を深め、感謝する心、自ら律する力を育てる。
 - ・地域行事に積極的に参加し、子どもを育てるための学校・家庭・地域の連携を深める。